



# Oasis meets Books

オアシス・ミーツ・ブックス

本のあるオアシス 本のある人生

2020年7月 vol.10

この「OmB」は2020.4月「Vol.9」で3年目に突入し、今回「Vol.10」を迎えることができました(^^)

みなさまのご協力のお陰です。ありがとうございます(#^\_^#) 『オアシスの“スタッフとスタッフ”そして“スタッフと本”を繋ぐほんの小さな力になれたら』と…。そんな当初の教育委員メンバーの想いがギュッとつまった素敵な試みに、昨年3月から関わらせていただけて幸せです。新しい生活様式の中にあっても「Oasis meets Books ~本のあるオアシス 本のある人生～」でこころ豊かに過ごしたいと思います。「オアシス文庫」の新刊も入庫予定です。どうぞお楽しみに♪

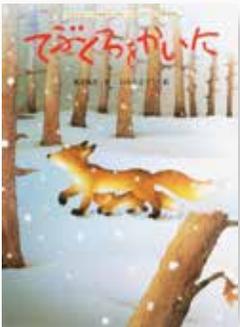
(教育委員会 副委員長：徳廣波江)

## てぶくろをかいに / 新美 南吉

グループホーム オアシス平野 / 介護士 平川 花子



【てぶくろをかいに】は、読み終えて心がすがすがしくなりました。同時に深い味わいを残す作品でもありました。



子ぎつねが、「目に刺さった」と勘違いする光に照らされた銀世界や、「こんばんは」と告げて少しだけ開いたドアから明かりがもれてできる光の帯など、幻想的な場面も心に残ります。

目に何かが刺さったと思って母親ぎつねのところに跳んで帰ってきたり、「手がチンチン(冷たくてじんじん)する」と訴えるかわいい子ぎつねの為に、てぶくろを買ってあげようと思う母親ぎつねですが、足がすくんでどうしても町へ行けません。それでも子ぎつねがかわいそうで、一人で買い物に行かせるところに何ともいえない思いを感じます。ラストの「ほんとうに人間はいいものかしら。ほんとうに人間はいいものかしら。」という母親ぎつねのつぶやきが一番心に染みました。

この本は、子どもが小さい頃によく読んであげたもので、今でも子どもも私もとでも好きな作品です。

・次回⇒ グループホーム オアシス平野 / 介護士 松本 由美

## カフェごはん めんどくさくない献立 / 山本 ゆり

ヘルパーステーション オアシス / サービス提供責任者 大野 美穂



私はあまりお料理が得意ではないので、毎日の献立にいつも頭を悩ませています。特に、疲れている時や帰宅が遅くなった時などは、買い物に行くのも、献立を考えるのも、作るのも嫌になりますが、この本を見てみると、食器選びや盛り付け方を考えて、何となく楽しくなってきました。



本の通りではなく、家にある材料で適当にアレンジして作っても、カフェ風に盛り付けるだけでちょっとオシャレで美味しそうに見えて、手抜きもバレません。

ワンプレートにすると洗い物も減って、楽ちんなのも助かります。電子レンジを活用したレシピも出ているようなので、手抜き料理を極めたいと思っています!

・次回⇒ ヘルパーステーション オアシス / サービス提供責任者 中尾 実加

## USJのジェットコースターはなぜ後ろ向きに走ったのか? / 森岡 毅

管理本部 総務部 / 深田 剣太



皆さん、テーマパークは好きですか? こう見えて学生の頃はUSJの年間パスを購入し、日々、弾けておりました。そんなUSJの軌跡をご紹介します。



2001年の開業当初には年間1,100万人もの集客がありつつも徐々に衰退し、2009年には750万人まで落ち込んでしまいました。このピンチをどう乗り越えるのか? お金がないならアイデアを振り絞れ! 後ろ向きコースター、ゾンビの大量放出、絶対生還できないアトラクション、ハリーポッターなど、斬新な企画を次々と打ち出し、USJはすばらしいV字回復を成し遂げます。低予算でアイデアを重ね、今ではTDRと並び日本の代表となるテーマパークを創り上げました。年間来場者数ではTDRを抜いて1位になった年もあるんですよ。

そんな成功の立役者「森岡毅」氏の著書です。どのようにアイデアを考案してきたのかを時系列で紹介し、アイデアを捻り出す手法はもちろん、目的のためなら手段を選ばない、常に考え続けるといった姿勢が学べる一冊です。

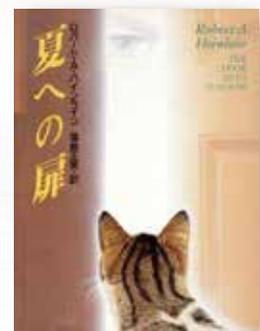
・次回⇒ 営業本部 営業企画部 / 羽田 邦男

## 夏への扉 / ロバート・アンソン・ハインライン

老健 支援相談課 / 課長 後藤 茂



古典的SF小説の中には現在の生活を予言するような作品があります。日本人SF作家の「星新一」は1960年代に「マイナンバー制度」、「ドライブスルー」等を連想させる作品を世に送り出しています。



1956年にロバート・A・ハインラインが発表した「夏への扉」の中にも「CAD」や「電子レンジ」をはじめ、なんと「USBチップ」に該当する商品が出現しています。この小説は古典的SF手法の一つである「タイムトラベル」を題材にした作品ですが、スピルバーグやキャメロン等のハリウッドを代表する映画監督たちが何度も映画化に挑み最終的に挫折した作品でもあります(ちなみにスピルバーグは妥協してバック・トゥ・ザ・フューチャーを製作する結果となりました)。

自粛ムードも継続しそうな雰囲気の中、古典的SF小説で過去と現在を行き来してみたいかでしょうか。

・次回⇒ 営業本部 営業企画部 / 西田 陽子

## 森が海をつくる / 葉 祥明

### 老健 オアシス デイケア・ショート / 介護士 植田 恵子



絵本が読みたくて絵本コーナーにいきました。絵本が、たくさんありすぎて迷い迷って見つけたのが「森が海をつくる」でした。

本の帯には、“木を植えて森をつくらう！そしてきれいな水をつくらう！川や海やすべての生き物のために”と書かれていました。この本は環境ファンタジー絵本の一冊で、海と森と山、川が互いに深く関わっているということが、美しい絵と分かりやすい文章で綴られていました。ほっこりとした色づかいもよかったです。



主人公の白いワンちゃん“ジェイク”が、海・川・森の精の声を聴き、生命と水の大切さや地球の自然のことを一緒に考え、伝えてくれます。「ゴミを減らそう」と思わせてくれる一冊です。

葉 祥明さんは絵本作家のほか画家、詩人でもあるようです。子ども向けの絵本から大人に向けたメッセージ本まで幅広く、たくさんの作品があるようなので、次はジェイクシリーズを読んでほっこりしたいと思います。

・次回⇒老健 オアシス デイケア・ロング / 介護士 高山翔太

## 宰領 隠蔽捜査シリーズ5 / 今野 敏

### 特養 オアシス寿安 総務課 / 設備管理 森田 憲治



私は、幼い頃から活字を読むことが大嫌いでした。警察に入り、幾つかの転勤の後、西成警察署で刑事になった時にグリコ森永事件が発生し、その捜査本部の兼務になりました。捜査本部の仕事は長時間で、合間の時間に相棒がよく小説を読んでいた影響で、私も小説を読むようになりました。



「宰領」は竜崎という合理主義一点張りの変人署長が主人公です。竜崎は、本来はない「警視長」という階級の署長です。とある理由から退職を決めたものの、理解ある上司からの左遷という降格人事を受け入れ、警察庁から警視庁の大森警察署長に異動します。竜崎に初めて会う者は、たかが警視が警視正だろうと考えて接します。しかし、竜崎の制服姿の階級章を見て「見慣れない階級章やなあ」と思い、この階級章が「警視長」と知るや「はは一つ」と畏まる。高い位の人物だとわかった途端に態度を変えます。「水戸黄門」のようです。この定番が、読者に快感を与えるのです。読者は、いつ身分が明かされるのかとワクワクしながら読む訳です。さらに刑事部長の伊丹と警察同期で幼馴染みという設定もあり、タメ口をきく竜崎の態度に周囲が仰天するところも愉快です。この二人が管内で発生する難事件を解決してゆくシリーズ物です。読む価値のある大変面白い本です。

・次回⇒グループホーム オアシスきずり / 介護士 曾根 浩一

## 走れメロス / 太宰 治

### 特養 オアシス寿安 生活支援課 / 介護士 吉岡 和真



妹の結婚式の準備のためにシラクスという町に買い物にやってきた牧人のメロスは、その町の王ディオニスが次々と人を殺すことに憤り、王に面会する。人の心を信じることなどできないと言う王に対して、メロスは三日間のうちに、村に帰り妹に結婚式を挙げさせ、そして、処刑されるために再び王のもとに戻ってくる。戻らなければ友人のセリマンティウスを自らの代わりに処刑してよい、と約束する。そして、村に帰り妹の結婚式を見届けたメロスは、約束の時間が迫るなか、友人を救い暴君ディオニスの邪心を打ち砕くため、シラクスへの道を走り抜ける。数々の障害を乗り越えたメロスは、ついに処刑台のセリマンティウスのもとへたどりつき、ディオニスに友情と信頼の勝利を見せつけるのである。



この本を読んで、メロスのように信頼し、セリマンティウスのように信頼してくれる友人はいるのか、そう思われるにはどう行動すれば良いのか深く考えさせられました。友情と信頼を考えさせられる作品です。

・次回⇒特養 オアシス寿安 生活支援課 / 介護士 江口 志生

## オアシス文庫 recommend



2012年5月14日(金)「この日は、ボク 田中圭一の命日になる一はずでした。」冒頭の言葉です。

著者 田中圭一氏は「うつ病」と診断され、苦悩の日々を過ごし、自ら命日になる日を回避する事ができた実体験から、この本は始まります。

「うつ病」のトンネルを抜け出た事ができた人達を自ら取材した内容が読みやすく、扉を開きやすい“マンガ”として描かれています。

「うつ」の原因、「突然のリターン」に対する対処方法の見つけ方など、実体験に基づく内容等を参考に、自らの対処方法を見つけ出す手助けになると思います。

最終ページ「うつつヌケこぼれ話 その2」の「スマホのナビを使いながら・・・」を読んで「私だけではなかった」と。これもこの本を読んで安心した内容の一つです。

一度、手に取ってページを開いてみていただくと幸いです。(教育委員会：徳廣波江)

うつつヌケ  
うつトンネルを抜けた人たち  
／ 田中 圭一

老健入り口の書棚「オアシス文庫」から貸し出できます▶



## 編集後記

年明けから、私たちは予想もしなかった、まるで映画のような体験をしています。誰もいない大阪駅前の写真・・・信号が変わって初めて、写真ではなく映像だと気づきました。数多のSF書籍の中には、もう何十年も前にこの様が描かれているものが在るのかも知れません。どんな書物であれ、起こる事象と共に語られるのは、人の心や行動、その交差と未来への歩み方のような気がします。

オアシス文庫は皆様の推薦書籍も取り混ぜ、色んなジャンルの本が増えてまいりました。

Group1 ⇒ 01委員会フォルダ ⇒ 教育委員会 ⇒ 【オアシス文庫/蔵書一覧(最新版)】で蔵書をご確認いただけます。

以前より少し増えた“おうち時間”のお供に是非、ご利用ください(^^)



(教育委員会：中島美和子)